今は昔、比叡の山に児ありけり。僧たち、宵のつれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、この児、心よせに聞きけり。さりとて、し出ださむを待ちて寝ざらむもわろかりなむと思ひて、片方に寄りて、寝たるよしにて、出で来るを待ちけるに、すでにし出だしたるさまにて、寝た振りをして、（ぼたもちが）出来上がるのを待っていたところ、もう作りあげた様子で、ひしめき合ひたり。この児、さだめておどろかさむずらむと、待ちゐたるに、わいわいと騒いでいる。この子供は、きっと（僧たちが）起こすだろうと、待っていたところ、僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれし（一人の）僧が、「もしもし。目をお覚まし下さい。」と言うのを（聞いて）嬉しいと思ったけれども、（もしも）たった一度で返事をしたら、（ぼたもちが出来上がるのを）待っていたのかと（僧たちが）思うといけない

と、いま一声呼ばれてから、返事をしようと、我慢して寝ているうちに（別の僧が）「おい、起こし申し上げるな。幼い人は、寝入ってしまわれた。」

今は昔…今となっては昔のこと
　だが
比叡の山…比叡山延暦寺
宵…夜
つれづれ…手持ち無沙汰
　退屈
かいもちひ…ぼたもち
心よせ…期待
さりとて…そうかといって
し出だす…作り上げる
わろし…よくない
片方…片方・片隅
よし…そぶり・ふり
出で来…出来上がる
すでに…もう・もはや
さま…様子
ひしめき合ふ…わいわいと騒ぐ
　大勢で騒ぎ立てる
さだめて…きっと
おどろかす…起こす
もの申しさぶらはむ（候はむ）
　…もしもし
たまふ（給ふ）…お～なさる
うれし…嬉しい
～ども…～けれども
ただ…たった・わずかに
　すぐ・ちょうど
いらふ…返事をする・答える
もぞ…～したら困る
　～したらたいへんだ
いま…もう
念ず…我慢する
や…おい
な～そ…【禁止】～するな
　～してはいけない
たてまつる（奉る）
　…～し申し上げる

©高校古文No.1授業ノート　https://kobun.info/